

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 3 年 3 月 9 日

事業所名 マザーズ森田

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		活動や療育の内容によって使用するスペースを分けている	
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		・壁に手すりを設置 ・事業所内の段差をなるべく少なくしている	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		より良い事業所運営ができるよう、体制を整えています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		週1回以上社内勉強会を開催している	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		活動ごとに担当を設け各教室の担当でプログラムの立案を行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		同じ活動が続かないように予定表を作成している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		朝礼等でその日実施する活動について確認をしている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		終礼でその日の振り返りを行っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		利用児童一人ひとりについて記録をとり、全ての職員が閲覧できるようにしている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		半年に1回以上行っている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	<input type="radio"/>			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参加している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		送迎時に学校の先生と話をするようにしている	
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		連絡があった研修には法人内で必ず1人以上参加するようにしている	
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		平日の活動では時間が限られているため交流をする機会が取れていません。土曜日や長期休暇中の活動の一環として交流できるような仕組みを検討しています。
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		連絡があった際は法人内で必ず1人以上参加するようにしている	
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時等に話や連絡帳でのやりとりを通じて伝えあっている	
保護者への説明責任等	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		ペアレントトレーニング等の支援は行っていないのが現状です。外部研修等への参加を通じ、ペアレントトレーニングへの理解を深めながら実施できるよう体制を整えていきます。
	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っている	
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			今年度はコロナウイルスにより実施できませんでしたが、令和3年4月以降は活動を再開できるよう準備を進めています。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・年に2回、マザーズ新聞という形で発信している ・予定表は毎月出している	
	34	個人情報に十分注意している	○		鍵付きの書庫にて保管している	
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後検討していきます

非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		2ヶ月に1回は必ず避難訓練を行っている	
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年1回以上、社内で研修を行っている	
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			アセスメントを取る際に確認し、対応しています。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			